

1	Track 04…『セックスって……気持ちいいのかな?』
正面・遠め（マイクに背を向ける）	
※SE…ベッドのギシギシ音	
（hmt_0219）ほむら「ん……こう、かな? でも、なんか違う気がする……。もっと腰を使って……こう……こう……っ……」	
※SE…ドア開く	
正面・遠め（マイクの方を振り返りながら）	
（hmt_0220）ほむら「へ? ……ああっ、ごめんっ。 ベッド、勝手に借りちゃってっ…… あと、枕も……ま、股に挟んだのは、 別にヘンなことをしてたわけじゃないよっ?」	
正面・近め（近づきながら）	
（hmt_0221）ほむら「……なんて、今さら言い訳しても無駄だね。 なんかお姉ちゃん…… このままだと、ダメになっちゃうかも……」	
正面・近め（うつむく）	
（hmt_0222）ほむら「その……結論を先に言っとね……」	
※SE…ベッドから立ち上がる	
正面・近め（顔を上げる）	
（hmt_0223）ほむら「お姉ちゃん、やっぱりバージン捨てたいの!」	
（hmt_0224）ほむら「……あ。今ちよっと引いたでしょ? もお、こっちは真剣に悩んでるのに……」	
※SE…ズボンを脱がす	
右耳・近め（移動しながら）	
（hmt_0225）ほむら「でも、お姉ちゃんの気持ちも少しはわかるでしょ? 毎日こうやって弟のおちんちんを触って、 お口でもしてあげてるのに…… セックスの経験がないなんて……さ」	
（hmt_0226）ほむら「……今、収録中のゲーム、お姉ちゃんが演じてるのは、 清楚なんだけど、めっちゃ騎乗位が上手いっていう ギャップキャラなんだよね」	

<p>右耳・近め（前ページからの続き）</p>	<p>（ hnt_0227 ） ほむら「 あ、騎乗位ってわかるよね？ 女の子が、男の人の上に跨がって腰を振るっていう…… ちようどさつき、お姉ちゃんが枕を股に挟んでやってた みたい……」</p>
<p>正面・近め（右耳・近めから移動しながらうつむく）</p>	<p>（ hnt_0228 ） ほむら「 ……自分でも、やりすぎなのはわかってるんだけどね」</p> <p>（ hnt_0229 ） ほむら「 いくら仕事のためとは言え、 弟のおちんちんをこんな風に弄ったり、 フェラチオまでさせてもらったのに…… こうやって触ってたら、お姉ちゃんに欲情して、 押し倒してくれないかなとか期待もしてたりして……」</p>
<p>正面・近め（顔を上げる）</p>	<p>（ hnt_0230 ） ほむら「 ……でもね。お姉ちゃん、ほんとにこの仕事が大好きなの。 だから、もつともつと演技も上手になりたいし、 ラジオで真剣に悩みを相談してくる人たちに、 きちんとした答えを返してあげたい……」</p> <p>（ hnt_0231 ） ほむら「 そのためだったら……エロい女だっと思われてもいい。 ……ふふっ。弟としては嫌かな？ すぐおちんちんを触りたがるお姉ちゃんなんて……」</p>
<p>右耳・囁き（正面・近めから移動しながら）</p>	<p>（ hnt_0232 ） ほむら「 ん……出ちやいそうになっちゃった？ いいんだよ、我慢しなくても…… いっつもイキそうになると、『もったいないから』って お姉ちゃんの手を止めようとするんだもん」</p> <p>（ hnt_0233 ） ほむら「 ……それとも、今日はお口の中で出したい？」</p>
<p>正面・近め（しゃがみながらうつむく）</p>	<p>（ hnt_0234 ） ほむら「 いいよ、してあげる……ん……はあ、む……ちゅ、んん…… はあ、れろっ、ちゅっ……んふ、ちゅっ……れろっ、 れろれろれろっ、ちゅうう、ちゅっ、ちゅるる……」</p> <p>（ hnt_0235 ） ほむら「 んん、ちゅっ……ぽ……はあ、ふふっ……毎日出してるのに いつも元気だよね……」</p>

左耳・囁き（正面・近め　しゃがんだ状態から移動しながら）

（ hmt_0236）ほむら「……ねえねえ、本当に手や口だけで満足？
このまま勢いで、お姉ちゃんとシてみない？」

（ hmt_0237）ほむら「……くす、誘惑してやった。そんな困った顔しても、
おちんちんはやる気満々みたいだよ……？」

正面・近め（移動しながら）

（ hmt_0238）ほむら「あ……じゃあさ、こうしない？
とりあえず、今はあ……えいつ」

※S E：ベッドに押し倒す

正面・通常（後ずさりながら）

（ hmt_0239）ほむら「……あらら、大人しく押し倒されちゃうなんて、
どっちが女の子だかわからないね」

正面・近め（移動しながら）

（ hmt_0240）ほむら「でも、ちようどよかった……一度、男の人に前戯っていうの
してみたかったんだよね……」

（ hmt_0241）ほむら「ちゅっ……ちゅっ、ちゅっちゅっ……上の服まくるね……」

S※S E：服をまくる

正面・近め（しゃがんで左右にキスを散らす・胸板キスイメージ）

（ hmt_0242）ほむら「ん……ちゅっ、ちゅっちゅっちゅっ、ちゅっちゅっちゅっ♪
ふふ、前にゲームの台本を読んだ時にね……
同じようにやってみたいなって思ってたの。
男の人の全身にキスをして、
とろつとろに溶かしちゃうの……」

（ hmt_0243）ほむら「……乳首も舐めてみていい？　ちゅっ……ん……はあ、
れろっ……ん、れろお……れろれろっ、ちゅっ、
ちゅうう、ちゅっば……はあ、ちゅう、れろん……」

（ hmt_0244）ほむら「んふ……ビクビクしちゃってかわいいね……
お肌もスベスベで……ん、ちゅっちゅっ……ちゅっ、
ちゅっちゅっちゅっちゅっ、ちゅうう、ちゅっ♪」

<p>左耳・囁き（正面・近めから顔を動かしながら）</p>	<p>（ hnt_0245）ほむら「……んん、どお？ ちょっとでも、お姉ちゃんとセックスしたいって思うようになった？」</p> <p>（ hnt_0246）ほむら「おちんちんの準備はできてるみたいだから……あとは、心の問題かな……？」</p> <p>※SE：ベッドの軋み</p>
<p>正面・遠め（左耳・囁き距離から後ずさりながら）</p>	<p>（ hnt_0247）ほむら「んしょ……お姉ちゃん、重くない？」</p> <p>……あ、おちんちん潰さないように跨がらないとね」</p> <p>（ hnt_0248）ほむら「……ふふっ。これが騎乗位の景色なんだ……こんな風に、男の人を上から見下ろすのって、すごく新鮮……でも、少し顔が遠いね……」</p>
<p>正面・近め（正面・遠めから移動しながら）</p>	<p>（ hnt_0249）ほむら「ん……ちゅっ♪ これでどう？ 顔……近くなったよ？……ぼうつとしてないで、お姉ちゃんのこと……抱きしめてほしいな……」</p> <p>※SE：抱きしめる</p>
<p>（ hnt_0250）ほむら「……うん、そう……その調子……ん、ちゅっ、ちゅっ♪上手にできたから、これはお姉ちゃんからのご褒美……チューしながら、おちんちん触られるの好きでしょ？」</p> <p>（ hnt_0251）ほむら「ん、ちゅっ、はあ……べロ……らふいて……ん、はあむ、んちゅ、ちゅうう、はあ、れろっ、れろれろれろっ、んん……ちゅううう、ちゅっぽ、ちゅうううっ、ちゅうううっ、んふ、ちゅううううっ、ぽっ……」</p>	<p>（ hnt_0252）ほむら「……おちんちんにも、べロチューしてほしい？」</p>
<p>正面・近め（しやがみながらうつむく）</p>	<p>（ hnt_0253）ほむら「おねえひやんのこの舌れ……ん、ちゅっ、ちゅっちゅっ、ちゅっ……ん、はあむ、んぢゅっ、ぢゅるっ、んぢゅ、ぢゅるるっ、んんっ、ぢゅっぽ……ぢゅう、ぢゅぽっ、ぢゅるるっ、ぢゅるるうう……っ」</p>
<p>（ hnt_0254）ほむら「はあ、れろれろっ、れろれろれろっ、んん……ちゅう、ん、はあっ、んん、ちゅっ、ちゅぽっ、ちゅっぽ、ちゅう、ぢゅるるっ、ぢゅうう、ぢゅっぽっ、ん、はあ……」</p>	

左耳・囁き（正面・近めしゃがんだ状態から立ち上がりながら）

（ hnt_0255）ほむら「……おちんちんにペロチューするのは刺激が強すぎるかな。また、お手々にバトンタッチする？」

正面・近め（左耳・囁き距離から顔を動かしながら）

（ hnt_0256）ほむら「ん……すごい気持ちよさそうな顔……

お姉ちゃんもなんか……

お腹、ムズムズしてきちゃった……」

（ hnt_0257）ほむら「……ねえ、このまま挿れてみない？

その……お姉ちゃんの……おまんこ、に……」

（ hnt_0258）ほむら「ていうかさ……まさかとは思うんだけど……

ひよっとして……童貞、だったりする？」

※S E：動揺（バサッ）

（ hnt_0259）ほむら「……あ、やっぱりそうだったんだ。

何となく……そうじゃないかなって思ってたんだよね。

今までの反応とか見えてきて……」

（ hnt_0260）ほむら「キスも……手コキも……フェラチオも……

みんな、初めてだったってことでしょう？」

（ hnt_0261）ほむら「……怒ってる？ ぜんぶ、お姉ちゃんが奪っちゃって……」

（ hnt_0262）ほむら「……おちんちんを触りながら訊くことじゃないよね。

でも、そっかあ……

まさか、自分の弟が童貞だったなんてねー……」

（ hnt_0263）ほむら「ふふっ、姉弟揃って経験がないなんて、

そういうとはお姉ちゃんに似なくてよかったのに……

ちゅっ……ん、ちよっと嬉しいけどね……」

（ hnt_0264）ほむら「でも、どうしよっか……お互い初めてだったら、

お姉ちゃんのバージン奪ってとも言えないよね……」

（ hnt_0265）ほむら「いっそのこと……お姉ちゃんが童貞をもらっちゃっても

いいかな……もう難しいこと考えるのはやめて、

二人で近親相姦……しちゃう……？」

（ hnt_0266）ほむら「男としても気になるでしょ？

……自分のおちんちんを女の子のおまんこに挿れたら、どのぐらい気持ちいいか……とか……」

正面・近め（前ページからの続き）	<p>※S E…クチュクチュ</p> <p>（ hnt_0267）ほむら「ん……んん……ねえ、わかる？ 今、おちんちんの先が何にこすれてるか……」</p> <p>（ hnt_0268）ほむら「カラダを起こしちゃダメ……じつとしてて……？ 動いたら、おちんちん入っちゃうよ……？」</p> <p>（ hnt_0269）ほむら「んん……ん……あ、すごいおつきくなってる…… おちんちんヌルヌルだから、 滑って入っていつちやいそうだね……」</p>
右耳・囁き（正面・近めから顔を動かしながら）	<p>（ hnt_0270）ほむら「……このまま童貞を奪われるのと、お姉ちゃんのバーจินを 奪うの……どっちがいい？ ……ここまできて、逃げたりしないよね？」</p> <p>（ hnt_0271）ほむら「お姉ちゃんに教えてほしいな……台本に書いてあることが、 どういうことなのか……」</p> <p>（ hnt_0272）ほむら「おちんちんが奥に当たって気持ちいいとか…… ゴリゴリこすれる感じとか…… 騎乗位の腰の振り方も覚えたいし…… 中で出されると、どんな感じなのかも……」</p>
正面・近め（右耳・囁き距離から顔を動かしながら）	<p>（ hnt_0273）ほむら「……え、ゴム？ ああそっか、普通はコンドームしないと、 ダメなんだよね。 生でしたら赤ちゃんできちゃうし……」</p> <p>（ hnt_0274）ほむら「ゲームだと、ほとんどエッチの時つけないから、 なんか……感覚が麻痺してて……」</p>
左耳・囁き（正面・近めから顔を動かしながら）	<p>（ hnt_0275）ほむら「……ねえ。真面目な話、ゴムつけてほしい？」</p> <p>（ hnt_0276）ほむら「初めてのセックスなのに……お互いをゴム越しでしか 感じられなくていいの？」</p> <p>（ hnt_0277）ほむら「ん……ああ、先っぽが入りかけてる…… さっきから、おちんちんパンパンだもんね……」</p> <p>（ hnt_0278）ほむら「好きな方を選んでいいよ？ 今から Condom をつけて、 お姉ちゃんに童貞を奪われるか…… それとも、このまま生で童貞を奪われちゃうか……」</p>

左耳・囁き（前ページからの続き）

（hmt_0279）ほむら「……ねえ、どっち？ 黙ってたなら、生で決定しちゃうよう。お姉ちゃんが妊娠しちゃってもいいの……？」
ほら……先っぽがどんだんお姉ちゃんのおまんこを
拡げていってる……」

（hmt_0280）ほむら「……結局、生がいいんだ？ 男の子は正直だね……
じゃあ、お姉ちゃんのパージンと童貞を交換しよっか。
ごめんね、初めての相手がお姉ちゃんなんかで……」

※SE…挿入

（hmt_0281）ほむら「ん……んっう、んんっ……はあ……あれ？
もっと簡単に入ると思ってたのに……
おちんちんがおっきいから……んんっ、あっ……ああ、
ちよっと……苦しい……ん、はあ……んっう、んんっ、
はあっ、んんうっ……」

（hmt_0282）ほむら「……はあ、そっちは平気？ おちんちん、痛くない？
まだ半分ぐらいしか入ってないのに……
圧迫感がすごくて……んんっう、んんんっ……ん……」

※SE…お尻をつかむ

正面・通常（左耳。囁き距離から移動しながら・後ろを振り返りつつ）

（hmt_0283）ほむら「……え？ 急に何？ お尻をつかんでっ……んあっ！？
ああっ、やあっ……おちんちんっ、だめっ……
無理っ……これ以上、入らなっ、んっんん！？
んっんん！ んああっ、ああっあ、ああああっ！？」

（hmt_0284）ほむら「んっう、んんっ……く……は、ああっ……入ってるっ……
おちんちん、ぜんぶっ……お姉ちゃんのおまんこにっ……」

右耳・近め（正面・通常から移動しながら）

（hmt_0285）ほむら「ん、はあっ……待って、動かないで……少しだけ、
じっとしてて……ん……はあ……ああ……
これがセックス……なんだね……」

（hmt_0286）ほむら「……もお、童貞を奪ってやろうと思ったのに、
最後は弟にパージンを奪われちゃったじゃん……
すごい勢いでおちんちん突き上げてくるから、
びっくりしちゃった……」

	正面・近め（右耳・近めから顔を動かしながら）
	<p>（ hnt_0287 ） ほむら「 ……でも、そういう男らしい一面もあるんだね。 ん、ちゅっ……ふふっ。これはオトナになったお祝いの キス……ちゅっ、ん、はあ……れろっ、ん、ちゅっ、 んっ、ちゅう、はあ、れろっ、んっ、ちゅう……」</p> <p>（ hnt_0288 ） ほむら「 ん……おちんちん、動かしたくなっちゃった？ でも残念だったね……今のこの体勢……わかるでしょ？ 女性上位、っていうの……」</p> <p>（ hnt_0289 ） ほむら「 これから、騎乗位の練習相手になってもらうから、 覚悟してね？」</p>
	正面・遠め（正面・近めから後ずさりながら）
	<p>（ hnt_0290 ） ほむら「 はいはい、暴れない暴れない…… ふふっ、まずはカラダを起こして……っ」と</p> <p>（ hnt_0291 ） ほむら「 ん、ああ……やっぱり枕するのは違うね…… 実際におちんちん挿れて……男の人に跨がりながら 動くのって……ぜんぜんっ……ちがう……っ」</p> <p>（ hnt_0292 ） ほむら「 んんっ、はあっ……お姉ちゃん……上手に腰……使えてる？ んっ……ふっう……腰だけを動かすのって…… 難しい……どうしてもカラダ全体が動いちゃう……」</p> <p>（ hnt_0293 ） ほむら「 んっ、ふっく、んんっ……でも……前後に動くのは…… だいぶ慣れてきたかも……どう……かな？ お姉ちゃんの腰の動き……見える？」</p>
	左耳・囁き（正面・遠めから移動しながら）
	<p>（ hnt_0294 ） ほむら「 ん、はあっ……でも疲れたから休憩……ちゅっ、ん…… 少し動いただけでも汗かいちゃうね…… うふふっ、ちゅっ♪ ちゅっ♪ こうやってくっついてると、のぼせちゃうかな？」</p>
	正面・近め（移動しながら）
	<p>（ hnt_0295 ） ほむら「 お姉ちゃんのおっぱい、邪魔でごめんね…… んん……なあと、顔をむにむにしてほしいの？ じゃあ、おっぱいで耳塞いじゃう…… ほら、ぎゅううう……」</p> <p>※S E…耳を塞ぐ</p> <p>（ hnt_0296 ） ほむら「 ……あ、息できるかな？ もう1回、耳塞ぐよ？ んしよ……むにむに、むにむに…… そして、ぎゅうううう……うふふっ。」</p>

※SE.. 耳を塞ぐ

左耳・囁き（正面・近めから移動しながら）

(hmr_0297) ほむら「セックスって楽しいね……」

実は、最初だけちよびつと痛かったけど、今はなんか……お腹の中がおちんちんでいっぱいになってるのが、すごく幸せ……」

正面・近め（左耳・囁き距離から顔を動かしながら）

「……あれ、もしかしてお姉ちゃんの……気持ちよくない？顔をしかめてどうしたの？」

「あ……イツちやいそう……なんだ？
がんばって、我慢してくれてるんだね……」

(hm 0300) ほむら「ん、そうだ……こうやって……ちゅっ、ん……
きふしながら……んちゅっ、ふっう、ん……はあっ、
こひをふるのは……？」

「hm_0301」ほむら「んっ、ちゅっ、んん！ちゅっ、んんっ、はあっ……んっ、んんっ……ちゅう、れろっ……ぴちゃ、ちゅう、んんっ、んっ……んっん、んん！んっんん！んん！」

「hm、0302」ほむら「んっ、ちゅっ……はあ……ふふっ……楽しくなってきた。んん……こうやって、手を恋人つなぎしてえ……シーツに押さえつけちゃう……どう、動けない?」

(hmr_0303) ほむら「ん、ちゅっ、はあ、れろっ……んちゅっ……また……
ベロチューしょ……んちゅっ、れろっ、れろれろっ、
ん、ちゅう、はあ……れろっ、ちゅう、んんっ……
ちゅううっ、んん、ちゅっ、ちゅううううっ……！」

(hmr_0304) ほむら「ちゅっ、ん……これ、ゲームのシチュエーションであつたの。ベロチューしながら……んちゅ、れろっ、んんんっ……こひを……ふりまくっれ、んちゅ、れろっ、ちゅう、んんっ、ふっう、んん！ れろれろれろっ、んっん！ ふっう！ んっんっんっんっんっんっんっん！！」

※
S
E
..
射精

(hm 0305) ほむら「んっん!?! んん! んんっん!?! んぢゅっ、はあれろっ、ちゅっ、ちゅううぽっ……はあ、はあ……おちんちんから出ちやつたね……やつぱり男の人って、こういうのが興奮するんだ……」

正面・近め（前ページからの続き）

（ hnt_0306 ） ほむら「 ……でも、臍内で出したら赤ちゃんできちゃうかな。本当は、外で出してもらおうと思ってたのに……」

（ hnt_0307 ） ほむら「 少し不安だけど、気にしなくても平気……お姉ちゃんが無理に言ってしまったこともん……けど、どうだった？ お姉ちゃんの臍内で出すの……気持ち、よかった？」

（ hnt_0308 ） ほむら「 ……お姉ちゃん、そっちの方が不安だったの。同じ女でも、アソコがゆるいとかあるみたいだし……初めてセックスしたのに、気持ちよくなかったら、申し訳ないなって……」

右耳・囁き（正面・近めから顔を動かしながら）

（ hnt_0309 ） ほむら「 お姉ちゃんは気持ちよかったよ……？ ウソついてないってば……まだ『イク』っていうのは、わからないけど……
バージンの子が初めてのセックスでイキまるとか、それこそゲームの中だけの話だと思っし……」

（ hnt_0310 ） ほむら「 あとね、ホツとしたこともあるの。
お姉ちゃん、バージンでいる期間が長かったから……セックスに色々な幻想を抱いてて……もしかしたら、期待ハズレに終わっちゃうんじゃないかなって……」

（ hnt_0311 ） ほむら「 ただの取り越し苦労だったけどね。
すぐく……素敵な初体験だった……ほんとだよ？ これだったら、またしたいなって思えたもん」

（ hnt_0312 ） ほむら「 本当は、お姉ちゃんがもつと上手にできたら……
今より気持ちよくできたのかもしれないけどね」

（ hnt_0313 ） ほむら「 ……なんか、いつ離れたらいいかわからないね。
もう少し、こうやってくっついててもいい？」

正面・近め（右耳・囁き距離から移動しながら）

（ hnt_0314 ） ほむら「 ……ありがと。いつもお姉ちゃんのために、無理してもらってごめんね。大好きだよ、ちゅっ。」

※トラック5へ